

第1章 著作権

執筆者は下記の事項を了解のもとに投稿して下さい。

- (1) 「電気加工学会誌」に掲載された記事，論文などの複製権，翻訳権は原則として当学会に帰属する。
- (2) 著者自身が当学会誌に掲載された記事，論文を複製，翻訳する場合に当学会はこれを妨げない。但し当学会誌に掲載された記事，論文をそのまま他の著作物に利用する場合には，当学会の著作物であることを明示する。

第2章 論文及び記事

2.1 会誌には次の内容の論文あるいは記事を掲載する。

- (1) 電気加工技術に関するもの
- (2) 電気加工に関する新しい製品，発明，考察に関するもの
- (3) その他会員に寄与すると認められるもの

2.2 論文及び記事の種別は次の通りである。

- (1) 論文，(2) 寄書，(3) 解説，(4) 資料，(5) 委員会報告，
- (6) 文献紹介，(7) 会報，(8) 会告，(9) その他

2.3 論文及び記事は原則として他の学会誌，雑誌などに未掲載のものとし，校閲委員会の校閲を経たのち掲載する。（和文商業誌，欧文学会誌，および欧文講演論文集に掲載されたものを大幅に加筆修正した記事，および翻訳した記事や論文を投稿する場合には，出版社，欧文学会，または欧文講演論文集出版社などに，著作権上の問題がないことを確認し，了承を得た上で投稿して下さい。）

2.4 論文，記事のページ数は原則として次の通りとする。

論文，解説 : 刷り上がり8ページ以内
資料，委員会報告，寄書 : 刷り上がり6ページ以内

2.5 論文は

- (1) 独創性を持った研究についての報告
 - (2) 発展性のある新しい理論・知見・技術についての報告
 - (3) 完成度の高い新技術，新製品の開発（ソフトウェア製品開発も含む）などについて具体的に記述された報告
- のいずれかである。

2.6 寄書は研究や開発について速報的な意義を持つものである。

2.7 解説は特定の比較的新しい学問や技術の内容などについて，現状，将来などを含め広い視野に立ち，その理解を深めるよう記述したものである。

2.8 資料は特定の事項に関する調査の結果，試験結果，性能解析などをまとめたものである。

- 2.9 委員会報告は各委員の構成，活動状況，経過ならびに成果の概要を記述したものである。
- 2.10 会報は学会の事業報告及び会務に関する諸報告のほか，総会，講演会，見学会，講習会などに関する報告である。
- 2.11 会告は学会行事の予告，日程，申し込み手続きなど会員に広告すべき記事である。
- 2.12 2.2項のうち次のものは投稿することができる。
 - (1)論文，(2)寄書，(4)資料，(5)委員会報告
- 2.13 2.2項のうち次のものは原則として編集委員会が著者に執筆を依頼する。
 - (3)解説，(6)文献紹介，(7)会報，(8)会告，(9)その他
- 2.14 会誌に投稿する論文は3章以下の要綱に従い執筆する。寄書，資料の投稿原稿もこれに準ずる。
- 2.15 論文以外については英文概要を要しない。
- 2.16 論文，寄書，資料以外の記事については論文の執筆要綱の構成にこだわらない構成をとることができる。

第3章 論文の内容と構成

- 3.1 論文は
 - (1)完成した研究の成果，あるいは研究途上における結果をまとめ記載したもの
 - (2)発展性のある理論，知見，技術について，従来の理論・知見・技術との比較，必要性，新規・独創性，将来的発展の可能性などが記載されたもの
 - (3)有用性を持つ技術，製品について，開発の背景，基盤技術，方法論，新規性，工業的有用性などが明記されたもののいずれかで，著者の原著であり，原則として他の和文刊行物に論文として未発表のものに限る。
- 3.2 論文内容については，著者が全責任を負うものとする。他の著作物から図，表，文章をそのまま転載する場合は必ずその著者，題目及び発行誌名などを記述する。
- 3.3 論文は次の順序で書く。ただし英文論文の場合は和文表題・和文著者名を要しない。
 - (1)和文表題，(2)和文著者名，(3)英文表題，(4)英文著者名，(5)英文概要，(6)英文キーワード，(7)本文
 - (1)表題は簡単でしかも論文の内容，特徴をはっきり示す。やむを得ず研究を数回に区切って発表する場合には，主題のほかに各報告ごとに内容を具体的に示す副題を付ける。
 - (2)著者名は個人名，委員会名（本会設置）などとし，著者の所属を示す。
 - (3)英文概要は論文内容の概要とその意義を簡潔に記述したものである。
 - (4)英文概要末尾にキーワードを英文で記す。キーワードは6語までとする。
 - (5)本文の内容は簡潔・的確に整理し，専門分野の常識的な事柄の記述は避ける。また読者が論文内容を理解しやすいように平易な文章で記述する。図表なども十分選択して，本文を理解するために必要な代表的なものに限る。
 - (6)本文は緒言，原理・理論，実験方法，実験結果，考察あるいは検討，結論，謝辞，参考文献の順で書く。

- 「緒言」には研究目的，従来の研究との関連，研究概要などを書く．
- 「原理，理論」ではこの研究で著者が新しく提案・主張する考え方（モデル），原理，解析方法などを平易に説明する．
- 「実験方法」では読者が追試する場合も考えられるので，十分かつ必要な情報を記述する．ただしすでに規格・標準化，あるいは常識化している試験方法の説明は省くか引用する．
- 「実験結果」では本実験によって初めて得られた事実・現象を書く．
- 「考察」あるいは「検討」では実験結果の解析・工学的意義，そして目標達成度などを述べ，残る問題点を吟味する．同類の研究があればその結果との比較対照を行う．
- 「結論」は本研究によって得られた新しい事項をまとめて記述し，これを箇条書きにすることを原則とする．

第4章 論文投稿原稿の作成要領

- 4.1 論文の投稿原稿は著者版下原稿とし，A4サイズの紙の枠内（左右170mm，天地242mm，上余白30mm，左余白20mm）に記述する．
- 4.2 ワードプロなどを用い精細な活字体で作成する．欧字は半角文字を原則とする．
- 4.3 表題，英文摘要以外の本文は2段組とする．
（標準：1ページ左右22文字×42行×2段，中央余白8～10mm）
- 4.4 最終ページに余白が生ずる場合は下部に左右均等に余白が生ずるように構成する．
- 4.5 図表は英文を用いるのが望ましい．
- 4.6 図表は原則として本文記述の近くの上方に割り付ける．接着剤を用いた図表，写真の張り付けは良いが，テープによる張り付けは認めない．
- 4.7 本文の文字は10.5ポイント（投稿時の文字サイズ）を使用する．
量記号（変数）はイタリック（斜体），単位記号，演算記号はローマン体（立体）が望ましい．句読点は，「。」「、」でなく，「.」「,」を用いる．
- 4.8 表題などの各項目の文字サイズは下記の通りとするが，ワードプロソフトにより異なるので不都合があれば適宜変更しても良い．
和文主題：16ポイント，左右中央揃え
和文副題：12ポイント，左右中央揃え
和文著者名：12ポイント，右寄せ
英文主題：半角文字，14ポイント，左右中央揃え
英文副題：半角文字，12ポイント，左右中央揃え
英文著者名：半角文字，12ポイント，左右中央揃え
Abstract表題：半角文字，ゴシック，10.5ポイント，左右中央揃え
英文概要：半角文字，10.5ポイント
各項目の表題の文字：10.5ポイント，ゴシック，左揃え
- 4.9 図，表の表題，脚注，参考文献，表は9.5～10ポイントとする．
- 4.10 1ページ目の左下欄に著者の所属を明記する．入れ方は投稿原稿見本参照．
- 4.11 図表は縮小後の文字などが小さすぎないように注意する．

- 4.12 その他の体裁については見本を参照する。字体や行間隔など見本にこだわる必要はないが、できるだけ従来の印刷紙面と同じように構成する。

第5章 論文の投稿と掲載料について

- 5.1 本会会員以外の者も論文を投稿することができる。
- 5.2 投稿時には、下記①～③の電子ファイルを校閲幹事宛に送付 (E-mail可) する。
- ①投稿申込書 (用紙に記入。論文の場合は和文概要を記載。)
 - ②A4版で作成した原稿。(PDFファイル)
 - ③英文主題、副題、英文著者名、英文アブストラクトをA4用紙に12ポイント、ダブルスペースで記載したもの。(PDFファイル) これは英文ポリシングに用いる。
- 5.3 投稿論文は2名の校閲者が校閲する。校閲結果が分かれた場合は第3の校閲者がさらに校閲する。
- 5.4 会誌への論文掲載が決定した場合
- ①著者に論文掲載が決定した旨を通知する。
 - ②英文アブストラクトは本会でネイティブにポリシングを依頼するので、著者はその結果を参考にして所要事項を修正の上、本論文および英文アブストラクト(ダブルスペースで記載)のPDFファイルを校閲幹事宛に送付する。
 - ③最終原稿と同じ「英文主題、英文副題、英文著者名、英文アブストラクト」のテキストファイルを電子メール等により校閲幹事宛てに送付する。これはIJEM(International Journal of Electrical Machining)に掲載するためである。
- 5.5 会誌への論文掲載が決定した場合には著者に掲載料を通知する。著者は掲載料を本部会計に納入する。掲載が却下された場合には掲載料は徴収しない。
- 5.6 掲載料は以下の通りとする。
- 少なくとも著者の1名が本会会員の場合
- 8ページ以内：2万円
 - 8ページ以上：1万円／1ページの割合で加算
- 著者全員が本会会員でない場合
- 8ページ以内：3万円
 - 8ページ以上：1万円／1ページの割合で加算
- なおカラーページの場合はその分を執筆者の負担とする。
- 5.7 徴収した掲載料は事情に関わらず返却しない。
- 5.8 論文の抜き刷りを希望する場合は、投稿申込書にその旨を記載する。掲載料と別に、以下の抜き刷り料を徴収する。

0部	0円
50部	15,000円
100部	20,000円
200部	25,000円

ただしカラーページを含む記事の抜き刷り料は別途これを見積もる。解説、寄書、資料、その他の記事の抜き刷り料は上記と同一とする。

第6章 解説、寄書、資料、その他の記事

6.1 解説、寄書、資料、その他の記事の内容と構成

- (1) 解説、寄書、資料の構成は論文の構成に準ずるが、英文アブストラクト、キーワードは不要とする。英文題目、および英文著者名は記載する。
- (2) 解説、寄書、資料の投稿原稿は著者版下原稿とし、A4サイズの紙の枠内(左右170mm, 天地242mm, 上余白30mm, 左余白20mm)に記述する。
- (3) 解説は1ページ目の左上に「一解説一」の文字(10.5ポイント, ゴシック)を入れる。
- (4) 寄書は1ページ目の左上に「寄書・技術報告」のように文字(10.5ポイント, ゴシック, 上下に線)を入れる。
- (5) 資料は1ページ目の左上に「資料」の文字(10.5ポイント, ゴシック, 上下に線)を入れる。
- (6) その他の記事のうち、随想、電気加工懇話室は1段組、本文12ポイントとし、1ページ目の左上方に「随想」、または「電気加工懇話室」の文字(10.5ポイント, ゴシック, 上下に線)を入れる。その他の体裁は解説、寄書、資料の構成に準ずる。

6.2 投稿規定

- (1) 解説、寄書、資料、その他の記事は本会会員以外の者も投稿することができる。
- (2) 寄書、資料の投稿時には、投稿申し込み用紙に記入のうえ、A4版で作成した原稿のコピー2部を校閲幹事宛に送付する。写真が不鮮明な場合は写真2部を添付する。再校閲で修正した場合にも原稿のコピー2部を送付する。会誌への掲載が決定した場合には、著者は本文1部とそのコピー1部を校閲幹事宛に送付する。
- (3) 解説、その他の記事の投稿時には、投稿申し込み用紙に記入のうえ、本文1部とコピー1部を校閲幹事宛に送付する。
- (4) 寄書、資料、その他の記事の掲載料は無料とする。
- (5) 編集委員会で依頼した解説には著者に原稿料を支払う。

